

授業科目名	プログラミング基礎	科目コード	G1402L04
英文名	Fundamentals of Programming		

科目区分	学部共通科目 - 情報科目		
------	---------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>現在最もポピュラーなプログラミング言語「Python」を利用して、プログラミングの基礎を学ぶ。Pythonの基本文法ならびに繰り返し・条件分岐などの制御構造を駆使して、簡単なアルゴリズムを実装する。また、拡張モジュールを利用してグラフィカルなインターフェイスの実装方法についても学ぶ。受講者はこれまでプログラミングの経験がない未経験者を想定している。本講義ではPCを利用する。本講義は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム 応用基礎レベル」の修了に必要な必修単位である。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	プログラミング	データ構造	アルゴリズム	Python
-------	---------	-------	--------	--------

到達目標	Pythonの基本的なコマンドを使ってプログラミングできる（60%）			
	Pythonを利用してグラフィック操作ができる（20%）			
	クラスとオブジェクトについて説明できる（20%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス プログラミング言語とは / プログラミング言語の選び方 / プログラミングに必要な環境	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】教科書第1章を見直しておくこと	30分
第2回	Pythonのインストール	
	【予習】教科書第2章を読んでおくこと	60分
	【復習】Pythonのインタラクティブモードでいろいろ試してみる	60分
第3回	Pythonでプログラムを書くときのルール1	
	【予習】教科書第3章1～4までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第4回	Pythonでプログラムを書くときのルール2	
	【予習】教科書第3章5～9までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第5回	プログラムを構成する基本的な機能1	
	【予習】教科書第4章1～4までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第6回	プログラムを構成する基本的な機能2	
	【予習】教科書第4章5～7までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第7回	数当てゲームを作ってみよう1	
	【予習】教科書第5章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第8回	数当てゲームを作ってみよう2	
	【予習】教科書第5章4～5までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
第9回	数当てゲームをグラフィカルにしよう1	
	【予習】教科書第6章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分

	数当てゲームをグラフィカルにしよう2	
第10回	【予習】教科書第6章4～6までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
	クラスとオブジェクト1	
第11回	【予習】教科書第7章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
	クラスとオブジェクト2	
第12回	【予習】教科書第7章4～6までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
	クラスとオブジェクト3	
第13回	【予習】教科書第6章7～9までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
	ソートアルゴリズムを体験してみよう	
第14回	【予習】1年後期に受講した情報科学概論の第4回「プログラム・アルゴリズムとデータ構造」の資料を読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみる	60分
	まとめとレポート課題	
第15回	【予習】これまで講義中に作成したプログラムを動かしてみる	60分
	【復習】レポート課題のプログラムを作成し、提出すること	180分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	講義期間中の課題提出（50%）+ 期末レポート（50%） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	大澤文孝著：「いちばんやさしいPython入門教室」、ソーテック社、2,280円+税	使用資料 <参考図書>	山田 祥寛著：「独習Python」、翔泳社 オンライン学習サイト「Progate」
授業外学修等			
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		

授業科目名	情報社会と情報倫理	科目コード	G4602L01
英文名	Information Society and Information Ethics		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス
------	---------------------

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>政府が2021年度から推進する「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、第5期基本計画で提起された「Society 5.0」の具体化が宣言されている。これは、「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されているものである。「サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した『超スマート社会』」の実現が目指されている。</p> <p>情報化やデジタル化は、業務の効率化や生産性の向上を実現し、産業振興・二酸化炭素排出量削減・高齢化対策などの社会的課題の解決にも資することが期待される。その一方で、秘密情報・個人情報の漏洩と拡散、情報の捏造と拡散（フェイクニュース等）、SNSを使った事件（いじめ、犯罪等）などの新たな問題や課題も生まれている。「Society 5.0」時代の社会人は、これらの知識に加えて、情報セキュリティや知的財産権についての基本知識を身に付けておくことも必要となる。</p> <p>この授業では、「Society 5.0」の内容と意義を理解するとともに、新たに生じている問題や課題とその対策について考察・議論する。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>
-------	--

キーワード	情報セキュリティ	個人情報保護	知的財産権	デジタルトランスフ	データ駆動社会
-------	----------	--------	-------	-----------	---------

到達目標	情報セキュリティ、秘密情報保護・個人情報保護、知的財産権の基本事項を説明できる。（40%）
	SNS、電子商取引、電子政府、電子決済、デジタルトランスフォーメーション(DX)、データ駆動社会の基本事項を説明できる。（30%）
	情報化やデジタル化の進展にもなっている問題や課題を理解し、その対策を考察・説明できる。（30%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>ガイダンス。「Society 5.0」について（歴史と背景、概要） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第1回</p>	
	<p>【予習】シラバスを読むこと。「Society 5.0」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第2回	<p>情報セキュリティ（概念、事例、法律） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第2回</p>	
	<p>【予習】情報セキュリティについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第3回	<p>情報セキュリティ（共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、スパム、DoS攻撃） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第3回</p>	
	<p>【予習】共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、DoS攻撃のうち1つを選んでインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第4回	<p>知的財産権（特許権、意匠権、商標権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第4回</p>	
	<p>【予習】特許庁のホームページの特許権、意匠権、商標権に関する説明を読んでおくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第5回	<p>知的財産権（著作権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第5回</p>	
	<p>【予習】文化庁のホームページの著作権に関する説明を読んでおくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分

第6回	視覚障害者と情報技術（外部講師による授業） 説明資料：情報社会と情報倫理-第6回 説明資料：視覚障害者のことを知ろう	
	【予習】視覚障害者が社会参加するためにはどのようにすれば良いかについて調査し、考察しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第7回	秘密情報保護、個人情報保護 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報社会と情報倫理-第7回	
	【予習】営業秘密、または個人情報のいずれかについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第8回	SNS（概要、メリット、課題） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報社会と情報倫理-第8回	
	【予習】SNSについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第9回	電子商取引（概要、メリット、課題） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報社会と情報倫理-第9回	
	【予習】電子商取引についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第10回	クラウドサービス（概要、メリット、課題） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報社会と情報倫理-第10回	
	【予習】クラウドサービスについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第11回	電子政府・電子自治体（概要、メリット、課題） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報社会と情報倫理-第11回	
	【予習】電子政府・電子自治体についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分

第12回	<p>電子決済・電子マネー（概要、メリット、課題） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第12回</p>	
	<p>【予習】電子決済・電子マネーについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第13回	<p>デジタルトランスフォーメーション（DX） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第13回</p>	
	<p>【予習】デジタルトランスフォーメーション（DX）についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第14回	<p>データ駆動型社会、人工知能（AI）の活用 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第14回.pdf</p>	
	<p>【予習】人工知能に関する最近の話題についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	30分
第15回	<p>データ・人工知能（AI）活用における留意事項 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報社会と情報倫理-第15回.pdf</p>	
	<p>【予習】これまでの授業資料を確認しておくこと</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。 なお、理解度を自己確認できるようにするため、これまで課したMicrosoft Formsを使った小テストを繰り返し実施できるようにする。</p>	30分
第16回		
	<p>【予習】</p>	30分
	<p>【復習】</p>	30分

評価方法	期末試験（60%）、各回の課題レポート（40%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	都度、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・内閣府ホームページ（ https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html ）
授業外学修等	毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。 日頃から新聞記事、テレビ番組などで、情報セキュリティ、秘密情報・個人情報保護、知的財産権、電子政府、デジタルトランスフォーメーションなどの情報収集をすること。		
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	人工知能とその活用	科目コード	G1402P03
英文名	Artificial Intelligence and its Practical Application		

科目区分	学部共通科目 - 情報科目		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>画像認識・機械翻訳・対話ロボットなど、人工知能（AI: Artificial Intelligence）を活用した製品やサービスが広く使われ始めている。これらの成果は、1950年代からの長い歴史を持つ研究の積み重ねによってもたらされたものである。現在も多くの研究課題があり、継続して研究開発が勧められている。それと並行して、製造・流通・金融・医療・農業・水産業など多くの産業分野への応用展開も進められている。この授業では、人工知能の基礎概念を学び、技術動向と活用状況についての理解を深める。 （担当教員：企業での実務経験あり）</p> <p><注意>本授業では、スマートフォン、またはタブレット端末、またはPCを利用して、小テストや課題を行うため、いずれかを毎回持参すること。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	アルゴリズム	探索	論理と推論	機械学習	データサイエンス
-------	--------	----	-------	------	----------

到達目標	人工知能技術の基礎概念を説明できる。（40%）				
	人工知能技術の活用状況を説明できる。（40%）				
	人工知能の活用について、自らアイデアを出すことができる。（20%）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上		キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>ガイダンス。人工知能をめぐる最近の話題と、人工知能の概要(1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第1回</p>	
	<p>【予習】シラバスを読むこと。人工知能に関する新聞記事やTVニュースを見ておくこと。</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分
第2回	<p>人工知能の概要(2)、人工知能の歴史と課題 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第2回</p>	
	<p>【予習】人工知能についてインターネットで調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分
第3回	<p>人工知能の基礎：アルゴリズム (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第3回</p>	
	<p>【予習】「ユークリッドの互除法」について調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分
第4回	<p>人工知能の基礎：探索、ゲーム (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第4回</p>	
	<p>【予習】深さ優先探索と幅優先探索についてインターネットで調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分
第5回	<p>人工知能の基礎：論理と推論 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第5回</p>	
	<p>【予習】三段論法についてインターネットで調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分
第6回	<p>社会におけるデータ・AI活用-社会で起きている変化(1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料1：人工知能とその活用-第6回-pre</p>	
	<p>【予習】「データ駆動」という言葉についてインターネットで調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p>	45分

第7回	<p>社会におけるデータ・AI活用 - 社会で起きている変化(2) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料1：人工知能とその活用-第7回 説明資料2：1-1_literacy_level_note_mod_gensha</p>	
	【予習】 データサイエンスについてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第8回	<p>社会におけるデータ・AI活用 - 社会で活用されているデータ (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料1：1-2_literacy_level_note_mod 説明資料2：小テストと課題</p>	
	【予習】 「機械学習」についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第9回	<p>社会におけるデータ・AI活用 - データ・AI活用のための技術 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料1：1-3_データ・AIの活用領域 説明資料2：1-4_データ・AI活用のための技術 説明資料3：小テストと課題</p>	
	【予習】 「構造化データ」「非構造化データ」という用語についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第10回	<p>社会におけるデータ・AI活用 - データ・AI活用の現場、データ・AI活用の最新動向 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料1: 1-5_データ・AI活用の現場 説明資料2: 1-6_データ・AI活用の最新動向 小テストと課題: 人工知能とその活用-第10回-小テストと課題</p>	
	【予習】 データ・AIが活用されている領域についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第11回	<p>データリテラシー - データを読む (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：2-1_データを読む 説明資料：人工知能とその活用-第11回-小テストと課題 データ：賃貸マンションデータ.xlsx</p>	
	【予習】 高校までで習った「基本統計量」について復習しておくこと	45分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分

第12回	<p>データリテラシー - データを説明する (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：2-1_データを読む-補足 説明資料：2-2_データを説明する 説明資料：2-3_データを扱う</p>	
	<p>【予習】高校の教科書またはインターネットで「ヒストグラム、散布図」について調べておくこと</p> <p>小テストと課題：人工知能とその活用-第12回-小テストと課題</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p> <p>データ：各国労働時間・支店別売上.xlsx</p>	45分
第13回	<p>データリテラシー - データを扱う (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：2-3_データを扱う_Excel演習 説明資料：ICT3-3_基本統計量・クロス集計表の作成-クロス集計表の作成 実習用データ：【実習用データ】2016年静岡県浜松市の気温と天気-mod.xlsx</p>	
	<p>【予習】Excelの使い方を復習しておくこと</p> <p>前回課題のフィードバック：前回課題のフィードバック</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。</p> <p>小テストと課題：人工知能とその活用-第13回-小テストと課題 データ：SSDSE-D-2021-総数.xlsx</p>	45分
第14回	<p>データ・AI活用のための技術として、回帰分析と機械学習について学ぶ。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第14回.pdf データ：賃貸マンションデータ2.xlsx</p>	
	<p>【予習】インターネットを使って、「回帰分析」と「機械学習」について調べておくこと</p>	45分
	<p>【復習】【復習】講義資料を再確認し、課題レポートを提出すること</p>	45分
第15回	<p>データ・AI活用における留意事項 - データを扱う上での留意事項 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：人工知能とその活用-第15回</p>	
	<p>【予習】これまでの授業内容を復習しておくこと</p>	45分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。 なお、理解度を自己確認できるようにするため、これまで課したMicrosoft Formsを使った小テストを繰り返し実施できるようにする。</p>	45分
第16回		
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】</p>	

評価方法	期末試験（60%）、各回の課題レポート（40%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	毎回、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・「人工知能は人間を超えるか」（松尾豊著, KADOKAWA, 2015）
授業外学修等	毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。 日頃から新聞記事、テレビ番組などで人工知能関連の情報収集をすること。		
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	データサイエンス実践演習I	科目コード	G4602L02
英文名	Practical Seminar on Data Science I		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス		
------	---------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、PythonのNumpyやScikit-learnといったデータ解析用のプログラミングモジュールを利用してデータサイエンスについて学ぶ。データから関連性を抽出し現象の解明や要因の分析に役立つ知識を得たり、データに潜む関連性をもとに予測を行う方法について学習する。本講義ではPCを利用する。「データサイエンス基礎I・II」（旧科目名「情報統計学I・II」）、「プログラミングの基礎」を受講していることが望ましいが、必須ではない。本講義は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の修了に必要な選択単位である。（担当教員：企業での実務経験有り）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	データ分析	モデリング	機械学習	Python	Scikit-learn
-------	-------	-------	------	--------	--------------

到達目標	解析の目的や手持ちのデータに応じた、適切な解析手法を選択できる（30%）
	Python（scikit-learn）を使ってデータ解析を実行できる（30%）
	実際のデータからモデルを作成し、結果を解釈できる（40%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、構造化データと非構造化データ、機械学習とScikit-learn	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】持っていない人はGoogleのアカウントを取得しておくこと。 教科書1章と2章を読んでおくこと。 ただし、2-2「scikit-learnのセットアップ」のPython、scikit-learn、関連モジュール等のインストールは不要（自分のPCで利用したい人はインストールしてもよい） 34ページからのColaboratoryを使えるようにしておくこと。 2-3「scikit-learnによる機械学習の基本的な実装」に関しては、コードを実行する必要はないが、解析の流れについて確認しておくこと。	30分
第2回	回帰-回帰のアルゴリズム、線形回帰	
	【予習】教科書3章 3.1 回帰のアルゴリズム 3.2 線形回帰 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第3回	回帰-正則化、確率的勾配降下法	
	【予習】教科書3章 3.3 線形回帰の正則化 3.4 線形回帰の確率的勾配降下法 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第4回	分類-分類のアルゴリズム、ロジスティック回帰	
	【予習】教科書4章 4.1 分類のアルゴリズム 4.2 ロジスティック回帰 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第5回	回帰 / 分類-サポートベクトルマシン	
	【予習】教科書3章 3.5 線形サポートベクトル回帰 3.6 ガウスカーネルのサポートベクトル回帰 教科書4章 4.3 線形サポートベクトル分類 4.4 ガウスカーネルのサポートベクトル分類 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第6回	回帰 / 分類-ランダムフォレスト	
	【予習】教科書3章 3.7 ランダムフォレスト回帰 教科書4章 4.5 ランダムフォレスト の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分

第7回	クラスタリング	
	【予習】教科書第5章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第8回	次元削減	
	【予習】教科書第6章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第9回	モデルの評価	
	【予習】教科書第7章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第10回	実データ分析－タイタニックの生存者予測	
	【予習】教科書第8章 8.1 はじめに 8.2 ロジスティック回帰を活用したタイタニックの予測モデルの作成 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第11回	実データ分析－気温と消費の予測モデル	
	【予習】教科書8章 8.3 ランダムフォレストを活用した気温分析と消費の予測モデルの作成 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第12回	実データ分析－映画のレコメンデーション	
	【予習】教科書第8章 8.4 Collaborative filteringを活用したレコメンデーションモデル 8.5 MovieLensを使ったモデル作り の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第13回	実データ分析（期末レポート課題）	
	【予習】SIGNATE、Kaggleなどのデータ分析コンペティションのサイトに掲載されている課題を調べておくこと	60分
	【復習】期末レポートで取り組む課題について、データの概要について確認しておく	60分
第14回	実データ分析（期末レポート課題）	
	【予習】選んだ課題の前処理方法、解析方法について考えておくこと	60分
	【復習】いくつかの方法を試して、より良い前処理法・解析法がないか検討する	60分

	実データ分析（期末レポート課題）	
第15回	【予習】前回までに作成したモデルを、より良いものにするための方法について考えておくこと	180分
	【復習】最終的に作成したモデルと予測結果についてまとめ、期末レポート課題として提出すること	180分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	講義期間中の課題提出（50%）+ 期末レポート（50%） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。
------	---

使用資料 <テキスト>	scikit-learnデータ分析実装ハンドブック、 毛利拓也/北川廣野/澤田千代子/谷一徳、秀	使用資料 <参考図書>	
----------------	---	----------------	---

授業外学修等	
--------	--

授業外質問方法	いつでもどうぞ
---------	---------

オフィス・アワー	月曜5限
----------	------

授業科目名	データサイエンス実践演習	科目コード	G4603P03
英文名	Practical Seminar on Data Science II		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス
------	---------------------

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	3年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、主にPythonのディープラーニング用プログラミングモジュールtensorflow/kras、Pythorchを利用してデータサイエンスについて学ぶ。本講義では非構造化データから関連性を抽出し現象の解明や要因の分析に役立つ知識を得たり、データに潜む関連性をもとに予測を行う方法について学習する。本講義ではPCを利用する。「データサイエンス基礎I・II」（旧科目名「情報統計学I・II」）、「データサイエンス実践演習I」、「プログラミングの基礎」を受講していることが望ましいが、必須ではない。本講義は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム 応用基礎レベル」の修了に必要な選択単位である。（担当教員：企業での実務経験有り）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	機械学習	ディープラーニング	画像解析	テキストマイニング	API
-------	------	-----------	------	-----------	-----

到達目標	解析の目的や手持ちのデータに応じた、適切な解析手法を選択できる（30%）
	Web API を利用してデータの取得ができる（30%）
	取得したデータを解析して、結果を解釈して説明できる（40%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、Pythonの復習、構造化データと非構造化データ	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】持っていない人はGoogleのアカウントを取得しておくこと。	30分
第2回	MNIST数字認識プログラム	
	【予習】TensorFlowチュートリアル「初心者のためのTensorFlow 2.0入門」を実行しておくこと https://www.tensorflow.org/tutorials/quickstart/beginner	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第3回	転移学習：画像分類機の再トレーニング	
	【予習】TensorFlowチュートリアル「画像分類器を再トレーニングする」を実行しておくこと https://www.tensorflow.org/hub/tutorials/tf2_image_retraining	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第4回	任意画風の高速画風変換	
	【予習】TensorFlowチュートリアル「任意画風の高速画風変換」を実行しておくこと https://www.tensorflow.org/hub/tutorials/tf2_arbitrary_image_stylization	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第5回	映画レビューを使ったテキスト分類	
	【予習】TensorFlowチュートリアル「映画レビューを使ったテキスト分類」を実行しておくこと https://www.tensorflow.org/hub/tutorials/tf2_text_classification	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第6回	BERT (Bidirectional Encoder Representation from Transformer)を使ったテキスト分類	
	【予習】TensorFlowチュートリアル「BERTでテキストを分類する」を実行しておくこと https://www.tensorflow.org/text/tutorials/classify_text_with_bert	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第7回	DALL-Eを使ったテキスト文からの画像生成	
	【予習】DALL-Eのページでどのようなことができるか調べておくこと https://openai.com/blog/dall-e/	60分
	【復習】モデルやパラメータを変えて再度実行してみて、どのように結果が変わるか調べること	60分
第8回	YouTube API の設定	
	【予習】YouTube APIの概要について確認しておくこと https://developers.google.com/youtube/v3/getting-started?hl=ja	60分
	【復習】API が正常に動作することを確認しておくこと	60分

	YouTube Data API による動画情報の取得	
第9回	【予習】 YouTube Data API を使ってどのような情報を取得するか考えておくこと	60分
	【復習】 YouTube Data API で取得したデータから分かることをまとめること	60分
	Twitter API の設定	
第10回	【予習】 Twitter API の概要について確認しておくこと https://developer.twitter.com/en/docs/platform-overview	60分
	【復習】 API が正常に動作することを確認しておくこと	60分
	Twitter API によるTweet情報の取得	
第11回	【予習】 Twitter API を使ってどのような情報を取得するか考えておくこと	60分
	【復習】 Twitter API で取得したデータから分かることをまとめること	60分
	KH Coderのインストール・使い方	
第12回	【予習】 KH Coder の概要について確認しておくこと https://kxcoder.net/	60分
	【復習】 KH Coder が正常に動作することを確認しておくこと	60分
	KH Coderを利用した文章解析	
第13回	【予習】 KH Coder を使ってどのような解析をするか考えておくこと	60分
	【復習】 KH Coder で解析したデータから分かることをまとめること	60分
	期末レポートのテーマ設定、実行	
第14回	【予習】 期末レポートで取り組む課題について考えておくこと	60分
	【復習】 いくつかの方法を試して、より良い前処理法・解析法がないか検討すること	60分
	期末レポートの実行、まとめ	
第15回	【予習】 前回までに作成したモデルを、より良いものにするための方法について考えておくこと	180分
	【復習】 最終的に作成したモデルと結果についてまとめ、期末レポート課題として提出すること	180分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	講義期間中の課題提出（50%）+ 期末レポート（50%） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 ディプロマポリシー：専門性100%		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	scikit-learnデータ分析実装ハンドブック、 毛利拓也/北川廣野/澤田千代子/谷一徳、秀
授業外学修等			
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		